

あさの ちゃんねる

医療法人社団 浅ノ川

浅ノ川総合病院 広報誌

2013年11月号(年4回発行)



イメージキャラクター
あさのちゃん

寒さ到来！
体調管理に
気をつけてね！



当院における救急医療取り組みの現状

事務長 谷 寛憲

救急車のたらい回しが一時期社会問題化したことは、皆さんもご記憶に新しいことと思いますが、地域医療において救急医療が大切であることは今更言うまでもありません。

先日、石川県が「防災ヘリに金沢市の医師や看護師を搭乗させ能登地区における救急患者をドクターヘリで搬送する。」という計画を発表しましたが、金沢などの石川中央医療圏と能登地区医療圏における医師の偏在化のなかでの、広域による新たな地域医療への取り組みのように感じます。このような現状をみたとき、ある意味、地域医療の原点は救急医療であると言っても過言ではないと考えます。

当院は、1年半前に大西病院長に代わりましたが、地域における救急医療の重要性から、原則、「救急は絶対断らない」との病院長方針が出されました。その結果、この1年半で救急搬送件数は約26%増えました。また、救急体制を整備して4年半となりますが、救急搬送件数は約2倍となっています。

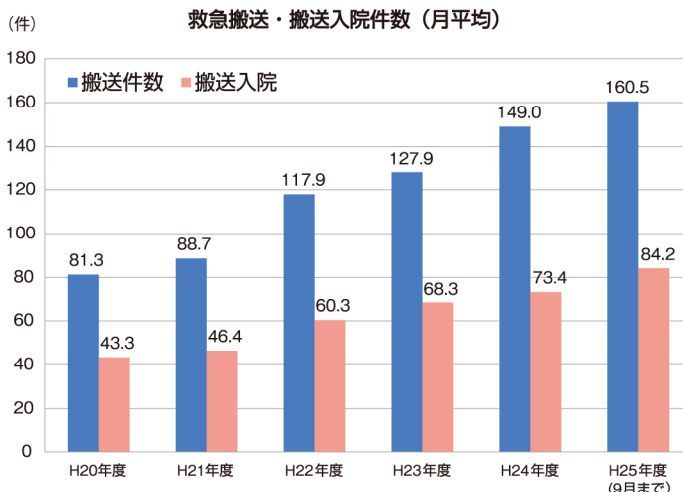
増えた理由としては、

- ①かかりつけ医の先生方からの紹介搬送
- ②介護施設などからの紹介搬送
- ③救急隊の判断による在宅患者の搬送

が、その主なものです。

また最近では、時々、富山県小矢部・砺波地区からの救急搬送があります。当院としては、まさに行政区域を越えた地域医療に貢献できていることをうれしく思っています。

これからも当院は、地域の急性期中核病院として、地域から信頼され、選ばれる病院を目指し、地域医療の原点は救急であるとの考えのもとに地域医療にいささかでも貢献出来ればと考えています。



病院の理念

「皆様の信頼を得る、思いやりのある医療を提供します。」

病院の方針

1. 新しい知識と技術を身に付け、質の高い医療を提供します。
2. 患者の皆様にはやさしい、活気にあふれる病院を目指します。
3. インフォームドコンセント(説明と同意)に基づいた治療を行います。
4. 地域の医療機関との連携を深め、地域医療の充実に貢献します。
5. 安全性を考え、責任の持てる医療を提供します。

寒い季節は転倒にご注意を！

朝もめっきり寒くなり、夕方の日暮れの早さにも冬の気配を感じさせる頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか？これから多くなってくるのが転倒による骨折です。

ケガなんていつも同じように起こると思われるでしょうが、実はこれから冬にかけて転倒して骨折する方は増えてきます。なぜだかわかりますか？

「雪で滑るから。」それもありますが、転倒して骨折するケースの多くは屋内で発生します。理由は、はっきり言われているわけではありませんが、おそらく寒さが関係します。人間は寒いと筋肉が固くなり、柔軟性がなくなります。また足が冷えることで脳への情報の伝達も悪くなり、バランスが取りにくくなるようです。ここで体が十分温まる前に動き出すことで、危険を回避できずに転倒してしまうのではないかと思います。もちろん、転倒の要因は他に身体的なものとして体調や眼の問題、心理的にはあせりや不注意、環境的には床面の状況、段差、片付けの状況、手すりの有無、履物、飲酒や服薬などが影響する場合もあります。また同じ転倒でも受け身がよかったり、骨が丈夫な場合は骨折までには至らないかもしれません。

ここで登場してくるのが整形外科です。日本整形外科学会は運動器の障害のために移動能力の低下をきたして、要介護になっていたたり、要介護になる危険性の高い状態を「ロコモティブシンドローム」通称「ロコモ」と提唱し、その予防をはかる運動を勧めています。

「ロコモ」とは筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板といった運動器のいずれか、もしくは複数の障害が起き、歩行や日常生活に何らかの障害をきたしている状態です。

骨折してからだけではなく、骨折に至らないようにするために、「ロコモ」の予防および対策を立てる必要があります。超高齢化社会においても、健康でいきいきとした生活をより長く送れるように整形外科をお役立て下さい。



特任副病院長 兼
整形外科部長
徳海 裕史

ロコモティブシンドロームとは



骨粗鬆症



変形性膝関節症
変形性腰椎症



筋減少症（サルコペニア）
神経障害（バランス低下）



歩けない・立ち上がれない、要介護・要支援のリスクが高い

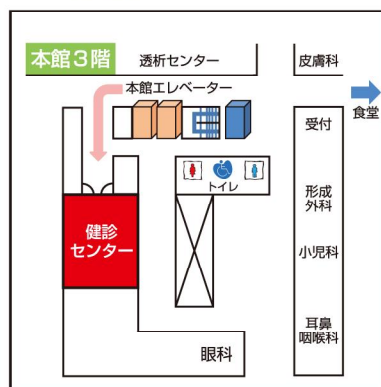
当院の健診センターの場所が 変更になりました！

当健診センターは病院内に設置されている健診部門であり、毎年3,000名以上の方にご利用いただいております。

この度、当健診センターはスペースの拡充及び、更なる機能の充実を図るため、本館2階から本館3階へと移設・全面改装し、7月より再スタートする運びとなりました。

健康診断を受診される皆様が健康で快適に過ごして頂くために、受診者様の視点に立って、最良のサービスの提供に努めてまいります。

今後ともご利用のほど、よろしくお願い申し上げます。



健診センターでは

生活習慣病予防を中心に早期発見、予防医療及び健康づくり対策の充実を図るため、一泊二日ドック、日帰りドック、生活習慣病予防健診、職場健診、脳ドック、特定健診など院内各科との連携により様々な種類の健診メニューを取り揃え、皆様の予防医療を担当します。

特定健康診査・保健指導とは？

メタボリックシンドロームの要因となっている生活習慣を改善させ、高血圧や脂質異常症、糖尿病などの有病者・予備群を減少させることを目的とした検査です。

平成20年4月より、40歳から74歳までの被保険者と被扶養者を対象に実施されています。

特定健康診査の項目

- ・質問表（服薬歴 / 喫煙歴等）
- ・身体計測（身長 / 体重 / BMI / 腹囲）
- ・理学的検査（身体診察）
- ・検尿（尿糖 / 尿タンパク）
- ・血圧測定
- ・血液検査
 - * 脂質検査（中性脂肪 / HDLコレステロール / LDLコレステロール）
 - * 血糖検査（空腹時血糖またはHbA1c）
 - * 肝機能検査（GOT・GPT / γ-GTP）

また、一定の基準の下、医師が必要と認めた場合には、心電図検査、眼底検査、貧血検査（赤血球数 / ヘモグロビン量 / ヘマトクリット値）がそれぞれ実施されます。

さらに、これらの健診結果により、特定保健指導を行います。内容は、受診者の状態に応じて、動機づけ支援、積極的支援となっています。

メタボリックシンドロームの診断基準

① 腹部肥満

ウエスト周囲径：男性85cm以上
女性90cm以上

② 脂質異常症

中性脂肪150mg/dl以上、HDLコレステロール40mg/dl未満のどちらか一方、または両方

③ 高血圧

収縮期血圧130mmHg以上、拡張期血圧85mmHg以上のどちらか一方、または両方

④ 高血糖

空腹時血糖値：110mg/dl以上

①の腹部肥満に加え、②～④の2つ以上にあてはまるものを、メタボリックシンドロームとします。



ご質問やご予約については健診センターまでお問い合わせください。

連携登録医のご紹介

今回は、『花園医院』をご紹介します。

当院は平成6年9月に今町の旧花園医院をお借りして開業し、6年後の平成12年5月より近くに新築・移転しました。

平成元年に旧花園医院の白井先生が病死され、無医地区となった花園地区の連合町会長が毎年金沢市医師会に医師派遣の陳情を繰り返されていたことを聞き、当地での開業を決めました。それまで腎臓病の病理診断と透析療法を主に行っていた内科医でしたが、5年間も医師不在だった花園医院が再開されたことで、地域の患者様から大変喜ばれ、歓迎されたことは誠に好運でした。また、開業当初から一番近く、いつでも快く検査と入院治療を引き受けていただいていた浅ノ川総合病院には大変感謝しています。

昨年3月まで院長をされていた上野敏男先生と統括副院長の荒木一郎先生には「内科系で診断のはっきりしない難しい患者さん」の入院治療をいつもお願いしてきました。昨年2月には、当院の診察室に入りなり心肺停止した患者さんを蘇生しながら救急車で浅ノ川総合病院へ搬送したときも、竹内先生を始め多くの救急室スタッフが全力で治療に当たってくれました。診断は解離性胸部大動脈の破裂で蘇生できませんでしたが、患者さんの御家族も大変お世話になったと感謝されていました。

現在、大西寛明新院長を先頭に、地域連携の新たな取り組みが次々となされていることを感じ、心強く思うと共に今後とも花園地区の地域医療のため貢献したいと思いますので宜しくお願いします。



連携登録医

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して新たに開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。



【 院長 ^{きのした まさる} 木下 勝 先生 】

昭和 43 年 3 月 金沢大学医学部卒業
 昭和 43 年 4 月 (社) 石川勤労者医療協会 城北病院
 (昭和 43 年 4 月 金沢大学第一内科 専修生)
 (昭和 46 年 4 月 名古屋大学分院 中京病院 腎臓の研修)
 昭和 47 年 11 月 (社) 石川勤労者医療協会 城北病院
 ～血液透析センター開設～
 平成 4 年 (社) 石川勤労者医療協会 健生病院
 (現在健生クリニック)
 平成 5 年 (社) 石川勤労者医療協会 羽咋診療所
 平成 13 年 12 月 (社) 日本内科学会 認定内科医

医療法人社団花園 花園医院

院 長：木下 勝
 診 療 科：内科
 得意分野：腎臓疾患

診療時間 ※水曜・土曜は 13 時まで

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	/
15:00～18:00	○	○	/	○	○	/	/

休診日：水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

住 所：〒920-0106 金沢市今町ホ 39 番地
 電 話：076-257-7772
 駐車場：有り



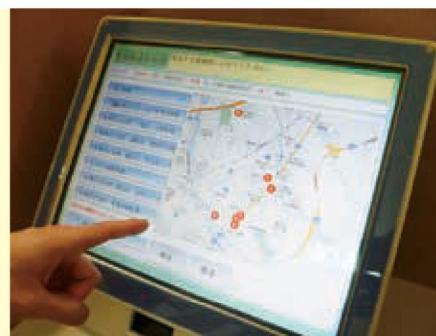
かかりつけ医検索システムのご紹介

このたび、画面をタッチするだけでかかりつけ医（連携登録医）を探ることができる“かかりつけ医検索システム”を導入しました。

「診療科別」、「地域別」で検索でき、詳細画面では診療時間、電話番号、地図等も表示され、印刷して持ち帰ることもできます。



正面入口入ってすぐ左手廊下に設置
(本館1階外来化学療法センター前)



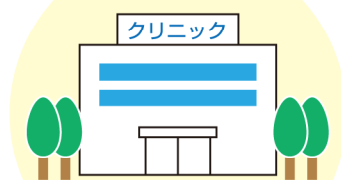
簡単にタッチして検索！

※検索範囲は当院との連携登録医となります。

かかりつけ医とは

あなたが病気になった時に一番先に診てくれるお医者さんのことです。

かかりつけ医（クリニックなど）

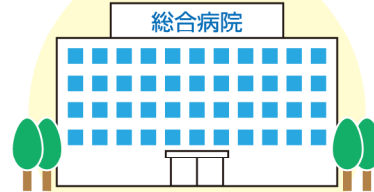


健康管理、投薬、身体の調子が
悪い時など身近な相談先

紹介状



浅ノ川総合病院



検査や手術など、より専門的な
医療を提供

当院は病院とかかりつけ医がそれぞれの機能に応じた医療を地域全体で提供する「地域医療連携」を推進しています。「かかりつけ医」は日頃の健康管理を行い、必要時には適切な病院を紹介してくれます。ご自宅から近い場所に「かかりつけ医」があると安心です。
みなさまも画面をタッチして「かかりつけ医」を探してみてください。

操作に関するお問い合わせがございましたら、総合受付までご連絡ください。

かかりつけ医の皆様へ

よりよい地域医療連携推進のため、連携登録にご協力ください。当院はかかりつけ医のいらっしゃる患者様、病状の安定した患者様に対して、連携登録医への紹介を推進しております。

連携登録医のお申し込み、お問い合わせは当院ホームページをご参照頂くか、地域医療連携室までご連絡ください。

緩和ケア外来からのお知らせ

緩和ケア認定看護師 安田外来師長に聞きました！

Q1:「緩和ケア」について教えてください

A: 緩和ケアは、がんにかかったことや治療によって生じる様々な「つらさ」に対して行われる医療です。この「つらさ」とは痛みや吐き気などの体の症状の他に、不安や気力の低下などの精神面、社会的な役割の変化、自分の事を自分だけで決められなくなる、大切な人との別れを意識するなどの悩みを表します。緩和ケアをがん治療の早期から並行して行うことで、治療過程により影響を与えます。

主にごがん患者様に行われることが多いですが、がん患者様以外の方でも提供される医療です。



緩和ケア認定看護師
安田 有子外来師長

Q2:「緩和ケア認定看護師」について教えてください

A: 日本看護協会では、認定看護師について「本会認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者」と定めています。緩和ケア認定看護師は、痛みや吐き気、浮腫などの苦痛症状の緩和について、また患者様やご家族への関わりなどに関する専門的知識や技術を学びます。

認定看護師の役割として「実践」「指導」「相談」があり、私自身は認定看護師としての活動を通して、緩和ケアの提供と普及に努めています。

Q3:どのような活動をしていますか

A: 外来・病棟を問わず、医師や看護師など医療従事者から、緩和ケアが必要な方に関する介入依頼や相談を受け付けています。対象の患者様やご家族と相談しながら、より快適に日常生活を送れるよう、つらい症状を緩和する方法を提案させて頂いています。具体的には日常生活での工夫に関する案内やマッサージ、リラクゼーションなどのケアの提供、病状説明のサポートや意思決定に関する支援も行います。主治医や担当看護師からの依頼に応じて、院内の多職種から構成される緩和ケアチームによる介入も行っています。

また、実践を通して看護職員に緩和ケアの知識の共有を行います。現在緩和ケア委員会では、月に1回「緩和ケア研修」を行っており、毎回50名程度の看護師が参加しています。

Q4:どのような相談がありますか

A: やはり、苦痛症状の緩和、特に痛みの緩和に関する相談が多いです。また、がん告知時のサポート、治療に伴う気持ちのつらさ、治療費に関する相談もあります。なかなか医療従事者には言いづらいこともあると思いますが、緩和ケアに関わる職員は院内に多くおりますので、少しでも快適な治療、療養生活を送れるよう、いつでもご相談いただき活用していただきたいと思います。

ご質問やご予約については緩和ケア外来にお問い合わせください。

新入職員紹介



よろしく
お願いします！

今年、各部に配属された
フレッシュなメンバーを
紹介します！



診療放射線技師

よしむら まりな
吉村 麻理菜

Q1: ご自身の長所を教えてください。

食べ物の好き嫌いが少なく、何でも食べること

Q2: 座右の銘を教えてください。

誠実・聡明・品位

Q3: 今後の抱負を教えてください。

患者様と接する時間は短いですが、少しでもリラックスして検査を受けられるような雰囲気を作っていきたいと思います。



診療放射線技師

さわだ えみ
澤田 恵美

Q1: ご自身の長所を教えてください。

我慢強い

Q2: 座右の銘を教えてください。

為せば成る

Q3: 今後の抱負を教えてください。

一つ一つの仕事に責任を持って笑顔忘れず頑張ります。



薬剤師

いよべ やすよ
伊與部 恵代

Q1: ご自身の長所を教えてください。

我慢強く、コツコツ努力します

Q2: 座右の銘を教えてください。

笑う門には福来る

Q3: 今後の抱負を教えてください。

笑顔と感謝の気持ちを忘れずに、一日一日を大切に精進したいです。患者様から信頼される薬剤師を目指します。

「ふれあい感謝祭 2013」

悪天候にもかかわらず



ご来場ありがとうございました。

2013年10月25日(金)・26日(土)、恒例の「ふれあい感謝祭」を当院で行いました。

骨密度、血糖値などを無料で測定する健康チェックには、およそ180名の方に参加していただき、大好評に終わりました。看護師、管理栄養士などによる健康相談や栄養指導では、日頃の生活習慣や食事などについて、熱心に聞かれる来場者の姿が多く見受けられました。

公開健康講座では、大西寛明病院長が「人生も病院も60歳からが面白い」と題した講演会を行いました。会場は満席で、来場者からは「大西病院長の人柄にふれることができ、おもしろ楽しく聞き入りました」等のコメントをいただきました。

オープンカフェでは、ソフトクリームやコーヒーなどの無料サービスに加え、今年は限定でシフォンケーキも提供しました。そして、当院のイメージキャラクター「あさのちゃん」が今年も登場し、リハビリ部佐藤さんのおもてなしコンサートでも、大いに盛り上がりしました。

当院ではこのような行事を通じて地域の皆様と交流し、「あさのちゃん」共々愛され、信頼される病院を目指していききたいと思います。今後とも、みなさまのご来場を心よりお待ちしております。



健康チェック・健康相談コーナー



おもてなしコンサート
リハビリ部 佐藤 さん



公開健康講座
大西 寛明 病院長



オープンカフェ

医療コンシェルジュの紹介

当院では受付会計の職員が「医療コンシェルジュ」として活躍しています。

主な業務.....

初診・再診の方や紹介状を持参された方の受付手順の案内

該当診療科案内

入院患者様の病室の案内

車椅子の介助

など



お気軽に声を
かけてください



私たちは「患者様からみて、わかりやすい受付会計にしよう!!」をテーマにして、初めて来院される患者様にはもちろんのこと、再来の患者様にも受診をスムーズに行ってもらえるよう、一番混雑する朝 8 時 30 分から 10 時 30 分の時間帯に医療コンシェルジュとして対応させていただいております。

行事レポート

第4回相談員・ケアマネ合同研修会

医療福祉がん相談室では、日頃からお世話になっている施設の相談員様やケアマネジャー様との合同研修会として「医師による医学講座」を開催しております。

当院の医師が交代で講師をつとめるこの講座は、おかげさまで多くのみなさまからご好評をいただき、第4回目を迎えることとなりました。

今回は、10月17日に、井戸一憲^{いど かずのり}リハビリテーション科医師による「回復期のリハビリテーション」、八田真弓理学療法士による「訪問リハビリの役割」をテーマに開催しました。今回も100名を超えるご参加をいただき、会場はあふれんばかりの熱気に包まれました。

参加者の方々からは、「すごく勉強になる」「毎回どの先生の話が聞けるか楽しみ」といったうれしい感想をいただいております。

第1回目の研修会からあつという間に1年が過ぎ、その間にたくさんの方々の顔を拝見しながら交流が深められたことを、非常にうれしく感じております。

今後も地域のみなさまにとって身近な病院であり続けられるよう、この研修会を定期的に開催していきたいと思っております。



編集 後記

カレンダーも残りあとわずかとなりました。寒くなるのと同時に、ちょっぴり物悲しい気分になりがちですね。でも、そんな時こそおいしいものを食べたり、仲間と出かけたりして、笑顔になれる時間を過ごしたいものです。先日、当院の職員が出演するCMの撮影が行われました。寒い中での笑顔作りはやはり難しいようで、「嬉しいことを思い出して笑顔を!」という指示を受けてみんな頑張っていました。やっぱり俳優さんやモデルさんってすごいんですね。私、あさのちゃんは、これからも笑顔で皆さんの心を温かくしていこうと思います!



問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL 076-252-2101 (代) メールアドレス: kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp